

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県産業文化センター
指定管理者	公益財団法人埼玉県産業文化センター
評価対象年度	令和4年度
施設所管課	産業労働政策課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	事故なく安全に運営された。
	法令等の遵守	A	施設の法定点検等は、的確に行われた。
	平等利用の確保	A	条例に定める利用日等は遵守され、利用許可も適切に行われた。
施設の設置 目的の達成	産業振興事業の実施	A	県との協力体制のもと、令和4年度は12事業を実施した。(目標:8事業以上)
	文化振興事業の実施	A	日本フィルハーモニーさいたま定期演奏会を中心に、計画どおり事業を実施した。 イベント参加人数:実績8割(目標:定員数の7割以上)
	利用状況	A	新型コロナウイルス感染症や、大規模改修工事に伴う休館(令和3年7月3日～令和5年2月3日)による影響を受けたが、利用率の向上が図られた。 利用率:実績大ホール93.6%(目標:80%以上)
	適切な管理の履行	A	協定書や事業計画に基づき適切な管理が行われた。
	財産の適切な管理	A	備品については、備品台帳との整合性を常に確認し、適切な管理が行われている。
	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	A	県内中小企業者の受注機会の増大、環境負荷の低減に配慮した物品等の購入や障害者就労施設等からの調達に努めるなど、適切な配慮がなされた。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	施設利用受付及び自主事業入場券受付においてネット予約を活用し、利用者への利便性の向上を図った。
	利用者の満足度	A	利用者アンケートにおいて、満足と回答した者の割合は95.7%であり高い割合となっている。なお、大規模改修工事に伴う休館により、アンケートは2月～3月の利用者に対してのみ実施。
総合評価		A	高い水準で管理が行われている。

特記事項	特に評価すべき点	施設利用率について、新型コロナウイルス感染症や大規模改修工事に伴う休館による影響を受けたが、リニューアルオープンの周知や利用誘致などの営業努力により、コロナ禍前の水準まで回復しつつある。
	次年度に向けて改善が望まれる点	大規模改修工事に伴う休館による影響から回復し、施設利用率の向上や、利用料金収入の確保に努めることが望まれる。